

第1回京北地域保育所の今後の在り方に係る検討会
会議録

日 時	令和7年8月27日（水） 17：00～18：50
場 所	ひかり保育所
出席者	<p>保護者代表6名（各保育所2名）</p> <p>田中 京北自治振興会会長</p> <p>樋口 京都市右京区役所京北出張所長</p> <p>野尻 京都市ひかり保育所長</p> <p>山本 京都市弓削保育所長</p> <p>和田 京都市周山保育所長</p> <p>香中 京都市子ども若者はぐくみ局幼保総合支援室公営保育所課長</p> <p>森下 京都市子ども若者はぐくみ局幼保総合支援室保育内容向上課長</p> <p>長坂 京都市子ども若者はぐくみ局幼保総合支援室保育施設支援課長</p> <p>※ 高橋 京都京北小中学校校長（オブザーバー）は欠席</p> <p>事務局：京都市子ども若者はぐくみ局幼保総合支援室</p>
次 第	<p><議 題></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 保育の観点 2 保護者負担の観点 3 コミュニティの観点 4 地域振興・移住促進の観点 5 全体を通して

事務局	<p>それでは、定刻になりましたので、ただいまから、第1回京北地域保育所の今後の在り方検討会を始めさせていただきます。皆様、お忙しいところ御出席いただきありがとうございます。はじめに連絡事項をお伝えいたします。会議録作成のため、録音させていただきますので、御了承ください。本日の検討会の内容は後日、チラシを作成のうえ、保護者をはじめ京北地域の皆様に全戸配布により周知し、京都市ホームページにも資料と会議録を掲載する予定としております。また、傍聴者の方は御発言いただけませんので、御了承ください。では、第1回ということで、検討会メンバーの自己紹介をお願いします。</p> <p>(検討会メンバー自己紹介)</p> <p>保護者説明会の際の説明ではメンバー案に含めておりませんでした。説明会の際の保護者の御意見を踏まえ、京都京北小中学校の校長先生にもオブザーバーとして参加いただくことになりました。ただ、本日は他の業務都合により欠席されています。それでは、開会に当たりまして、幼保総合支援室公営保育所課長から御挨拶申し上げます。</p> <p>(公営保育所課長 挨拶)</p> <p>まず、本日の資料の確認をお願いします。</p> <p>(配布資料の確認)</p> <p>それでは、本日の進行について御説明します。資料の次第を御確認ください。保育の在り方、保育所の在り方について、4つの観点をもとに議論を進めたいと考えております。「(5) 全体を通して」という議題では、4つの観点以外の御意見や保護者の皆様が各保育所で聞いていただいている御意見等があればお願いします。いずれも重要な議題ですが、限られた時間で皆様から広く御意見をいただき、有意義な議論を行うため、御発言はできる限り簡潔にさせていただくなど、効率的な進行に御協力をお願いします。時間内に発言できなかった御意見等ございましたら、お手元の意見票に記載いただき御提出ください。</p> <p>それでは議題に進みます。まず、「(1) 保育の観点」についてです。資料2と資料3については、記載のとおりのため説明は割愛させていただきます。資料1の1ページを御覧ください。</p> <p>(資料1の1ページ説明)</p> <p>それでは、この観点について、御意見がございましたらお願いします。</p>
-----	---

弓削保護者	<p>弓削保育所では検討会の実施に当たって、保護者に呼び掛けて、この場に持ってくる意見を集め、いただいた意見をまとめて持ってきたが、その中で保育の観点の内容をこの場でお話すればよいか。</p>
公営保育所 課長	<p>はい。説明会でもお話した4つの観点で、それに沿わないものに関しては、全体を通じての御意見でご発言いただく場を設けているので、まずは一旦保育の観点での議論をさせていただきたい。</p>
弓削保護者	<p>弓削保育所で保育の観点で御意見いただいたものが3点あるので、伝えさせていただく。まず1点目は子どもの数が減少しているので合併することに反対はしないが、その合併の時期について、今の3歳児が卒園した後、令和10年度にしてほしいという意見があった。理由としては、3歳児はどの保育所も多いので、年長のタイミングで3箇所の子が合併することになると、部屋が狭くなることや、保育所の集まりや行事のときに駐車場が狭くなってしまふ。弓削保育所では3歳児が卒園したら、保育所に通わなくなる家庭が多いので、車の台数も減る。また、少人数での保育を希望している方がいること、運動会・発表会・修了式などの年長の行事で人数が急に増えることに抵抗があるという理由から3歳児が卒園したタイミングで合併してほしい。</p> <p>2つ目の意見は、各保育所で子どもたちが楽しんでいる多様な遊びや親子活動、芸術活動などを、全てとはいかなくても、再編後も、できるだけ各保育所の良さを残して遊びや活動ができるようにしてほしい。</p> <p>3つ目の意見は、3保育所が合併されることになったら、駐車場を整備してほしいということ。冬になったときに、積雪地域なので、雪で半分使えなくなってしまうこともあるし、雨や雪でびちゃびちゃになってしまう心配があった。あとは冬場の早朝に送迎するときにも、安心できるようにしてほしいという意見があった。</p>
公営保育所 課長	<p>補足だが、資料3にある、各保育所入所児童数推移で言うと、令和7年度に弓削保育所の3歳児が10名になっている。1つ目の御意見で人数の話があったが、資料の方も見比べていただければと思う。</p>
自治振興会 会長	<p>3保育所での合同の交流会を複数回実施された結果、児童はどのように感じているのか。</p>
周山保育所 所長	<p>子どもたちは4歳だった時に会った子と、5歳になって会うときは前に会って知っているのので、ひかり保育所の〇〇ちゃん、弓削保育所の〇〇ちゃん、と継続して会うことを楽しみにしており、交流を続けていることを喜ん</p>

	<p>でいる。保育所内では得意なことが合わないこともあるが、例えば竹馬が好きな弓削保育所の〇〇ちゃんがいる、頑張っていることを先生が言ってくると、私も頑張るといった、心のつながりみたいなものも積重ねの中で見られた。</p>
ひかり保育所長	<p>ひかり保育所は幼児が9人と少ないが、一緒に過ごすことによって少し大きな集団で遊びをすると、普段なかなかできないドッジボールやサッカーといった遊びができたり、リレーをしても普段より長くできたりというところでは、子どもたちが日常できない遊びに膨らんで新たな経験ができたり、顔見知りになって、友達になって次に会うことを楽しみにしたりするなど、子どもたちがわくわくドキドキする体験や子どもたちの成長が見られる。送迎で保護者に協力していただいているからこそできていると感謝している。</p>
公営保育所 課長	<p>弓削保育所の御意見にある3点目の駐車場の整備などのハード関係について、我々もホールの空調設備の導入などを例として挙げているが、日々の保育の中でも結構だが、各保育所でこれがあれば良いなど、ハードの整備で今の保育所にとって必要だというような御意見はあるか。</p>
周山保護者	<p>弓削保育所を使われる前提であれば、弓削保育所の方が一番御存知かと思う。</p>
弓削保護者	<p>駐車場は意見を集めた際に言っていたことだが、他はそこまで出でならず、自分も不便さをまだ感じたことはない。何かすぐにしてほしいことはないが、駐車場が暗く、前に電気をつけてもらったが、ちょっと危ないと感じるところもある。</p>
周山保護者	<p>弓削保育所は遊具がいっぱいあって楽しそうだが、園庭の遊具がないスペースが、周山保育所と比較してこじんまり感があり、例えば運動会をするときは、何も無いスペースは周山の方が広いので、人数は多くないが、保護者も観覧するため、もう少し広い方が良いかもしれない。</p>
公営保育所 課長	<p>ひかり保育所、周山保育所の保護者はいかがか。</p>
周山保護者	<p>周山保育所でも意見を聞いてまとめたものがあるので紹介する。 周山保育所、ひかり保育所の子どもは弓削保育所への集約により、環境の変化が起こるため、各保育所の担任の先生方の勤務をお願いしたい。慣れた先生の方が安心感があると思う。 2つ目は、先ほどもあったが、弓削保育所は3保育所の中では新しいとは思いますが、子どもが増えても快適に過ごせるように、耐震性等の強化も含め、</p>

	<p>設備を整えてほしい。</p> <p>3つ目は、保護者の住んでいる場所によっては、送迎負担が増えるので保育時間を19時にするなどの対策も考えてもらいたい。</p> <p>4つ目は、保育所統合後も、異年齢保育で大体1クラス15名ほどが望ましいという意見もあった。</p>
公営保育所 課長	<p>送迎の負担は後ほど、保護者負担の観点で議論させていただきたいが、保育士の立場として異年齢保育などについてはいかがか。</p>
保育内容 向上課長	<p>異年齢保育は15人から20人くらいの人数が望ましいと考えているので、子どもの人数にもよるがそれに近い人数で編成できたらと考えている。</p>
保育施設 支援課長	<p>その場合、先ほど弓削保育所からいただいた、3歳児を京北全部で合わせると17～18人となることが多いと感じる感覚をどのように考えればいいのか。異年齢保育をする場合、3・4・5歳あわせて15人から20人くらいの中で、1学年5人かもう少しいると気の合う友達も見つかりやすい。もちろん年齢を超えて友達も見つかるが、子どもたちが友達関係を築いていったり、何かを皆でしようとなつて学年で集まったりしても、いろいろな意見を出し合うのには、2～3人よりも5人以上いる方が理想的だと思うので、そういう異年齢保育を作っていきたい。仮に統合した場合、そのような人数でクラスを作ると、2～3クラスになる。日常の人数についてはそのようになるが、行事や発表をすとなると、3・4・5歳の小グループで何か劇や音楽の発表をしたりすると思うが、年長児だけで、まとまったことをするには、18人くらいの人数になると考えている。それがちょっと多すぎるかな、不安だと感じられているということか。</p>
弓削保護者	<p>意見してくださった方は、それが多いいと思われるみたいで、極力10人程度が良いと思われる。今の状態の保育が落ち着いているようなので、そういう意見が出ている。</p>
保育施設 支援課長	<p>御意見いただいた方が我が子を見て10人くらいで生活している方が子どもにあっていると感じられているということか。</p>
保育内容 向上課長	<p>同じ年齢が10人というのが5歳児になった時に良いということか。</p>
弓削保護者	<p>そのようである。</p>
ひかり保護者	<p>それでいうとひかり保育所は、既に人数がもう少なく、2人とか3人なので、だからこそ、基本的にひかり保育所に来たいという人に関しては、1学</p>

	<p>年の人数の少なさを、デメリットと感じるよりも、この環境が良いと感じるという方の意見もある。当然、大人数の方が良いという意見もある。なので、ひかり保育所では3保育所が1つになって、そのときにどうすればいいか、どういう意見を出すかという話以前に、それぞれの自由で選ばせてもらえる今の体制がいいので、何とかそれを維持できないかという意見が多い。大人数の保育所があつて、そこを選択できることは良いが、保育所を1つにしてしまうと、選択できなくなることがしんどいということがあがるが、今、弓削や周山の保護者意見を聞いて、1つになった時の具体的な意見を考えられていると正直驚いた。なので、ひかり保育所でも3保育所が1つになるしかない場合、どうするかという意見を保護者に求めないといけないと思うが、今現在、ひかり保育所に関してはそこまでの意見が集まっていない状況。</p>
<p>公営保育所 課長</p>	<p>保護者説明会でも伝えているとおり、3保育所を1つにというのは検討するうえでの1つ案という形で議論を進めたいということなので、当然、確定をしているということはない。少人数の良さと、集団保育の重要性の部分は、この間、昨年度の意見交換会、アンケート、今回の保護者説明会といった、皆様とお話する場を通じて、意見をいただいている。我々も丁寧に御説明していくというお話をさせてもらっているが、この部分は、本市の説明している認識には立てないというイメージか。</p>
<p>ひかり保護者</p>	<p>そうである。あとは、今のひかり保育所では、保育時間が18時で終わってしまうということもネックである。また、そもそも0歳児を受け入れないことが一番ネックである。もしひかり保育所で0歳児を受け入れたら状況は変わるはず。今は何歳から受入開始か。</p>
<p>ひかり保育所長</p>	<p>10箇月からである。</p>
<p>ひかり保護者</p>	<p>そういう諸々の条件を含めて、やはり選択できるという今の形を何とか残せないのかということはどうしても思ってしまう。</p>
<p>保育施設 支援課長</p>	<p>保育に正解はなくて、こうして私たちも京都市の保育を作ってくるなかで、集団での活動の重要性を伝えている。ただ、ひかり保育所の里山保育のように丁寧に一人一人自由に過ごせるという時間がたっぷりあって、自然とともに成長していくということを大事にしている保育所もあり、それを否定するものではなく、私たちも魅力的な保育だと思っている。今ここで説明させていただいているのは、公営保育所として、一人一人丁寧に保育していくことで、子どもたちの思いはきちんと受けとめ、私たちがこういうふうに育てほしいなということきちんと子どもたちに返すということを願いながら実施している。その中で、幼児というのは、一定の人数の中で気持ちをぶつけ</p>

	<p>あったり、譲ったり、自分の思いを通したりという経験をたくさんするべきであり、幼児教育で3歳児とか、昔なら4歳から、幼稚園があったというのも、親元から離れて、そのような集団の中で自分の思いを人へ伝えることの大切さがあった。そういう発達のタイミングであることを捉えると、一定の人数での保育をさせてもらいたい思いはある。ただ、その他の考え方を否定するものではなく、違う保育が存在するというのも大事であり、その保育が好きな子どもやその中で育っていく子どももいると思うので、どう共存していくかという観点も重要。</p>
周山保護者	<p>周山保育所でも同じような意見も出ており、ひかり保育所を分園として残す方法や、統合以外の選択肢の検討をお願いしたいというような意見もあった。京北の周辺にある同じような地域の、日吉町や八木町や美山町の保育所の数を見ると、どこもインターネットの情報では2園ずつあるようである。ただ、公式の意見ではないが、美山町の方では、分園とこども園があるが、分園は既に実態としては利用されていないことを伺った。他の自治体の実態は把握されているのか。</p>
事務局	<p>実態など、どこまで詳細に調査しているかという点と難しいが、大まかな情報は調べてはいる。</p>
周山保護者	<p>京都市内の他の地域と比べられても、特殊な地域なのであまり対象にはならないと思っており、比べるのであれば美山町や日吉町や八木町などになるかと思う。個人的に反対しているわけではなく、正解があるわけではないが、弓削保育所を本園で、ひかり保育所を分園とするのが、周辺を見ると妥当なのか、それとも今後、もっと子どもが減ることも踏まえたら、1つが妥当なのか。</p>
公営保育所 課長	<p>バランスを見て調和を取っていくという方向の中で、まだアイデアレベルであるが1つの案として、運営体制が何か明確に定まっているものはないが、送迎の負担の観点なども含め、弓削保育所を本園という形にして、ひかり保育所を分園という形で当面存続していくなど、そういう形での調和の仕方も、やり方としてなくはない。そのような御意見は当然あってしかるべきであり、ひかり保育所の保護者のように今の形で残すべきという御意見もある中で、そういった御意見を本日はたくさん持ち帰りたい。</p>
事務局	<p>では次に、「(2) 保護者負担」の観点に移る。資料1の2ページを御覧ください。</p> <p>(資料1の2ページ説明)</p> <p>それでは、この観点について、御意見がございましたらお願いします。</p>

公営保育所 課長	<p>補足になるが、保護者負担の観点では、意見交換会やアンケートで御意見いただく中で、送迎負担について御意見をいただいております。送迎バスや開所時間の延長などを1つのアイデアとしてお見せしているもの。保護者説明会資料の15ページにも記載させていただいているが、アンケート結果では、現在、100%自家用車で、送迎の時間では片道10分以内の方が多いと回答いただいている。そちらも併せて御覧いただきたい。また、資料2として、地図を添付しており、左下に京北の6地域と、右下に保育所の位置関係とグーグルマップのルート検索での所要時間を入れている。そうした中で、保護者負担では、例えば京都市からお伝えしている案で、3箇所から1箇所にする場合の送迎負担や、当然そもそも再編に反対という御意見も含め、保護者負担の観点から、多くの御意見をいただければと思っている。</p>
弓削保護者	<p>私はひかり保育所の近くに住んでいるが、子どもがまだひかり保育所に入所できない月齢なので、弓削保育所に通わせていて、片道20分程度掛かる。子どもの用意をして、お着替えをセットしたりすると、行き帰りに1時間かかり、お迎えのときも大体1時間かかるため、1日のうちの2時間が保育所の送迎で取られてしまうということがすごく負担だと感じている。これが冬になると、雪かきをしたり、峠道が通れなくて遠回りして行くことになるなどの心配事も出てくるので、統合先が弓削保育所になるということであれば、どうやって送迎を続けていけるか考えている。ただ、送迎バス以外の可能性もあるのではないかと考えており、ふるさとバスに乗せてもらうとか、弓削で個人の方がタクシーをボランティアでされているデマンド交通のようなサービスも立ち上がっているので、そういうことが利用できないかということも含めて、考えていただけたらと思う。</p>
公営保育所 課長	<p>周山保育所の御意見にもあったが、1つの方法として時間外保育の実施、開所時間の延長も、送迎の負担に対応するものとして御意見いただいた。感覚としてお聞きしたいが、アンケート結果では100パーセントの保護者が自家用車で送迎されているなかで、例えば、ふるさとバスやその他の形でも、整理が必要だが、条件が合うと使えるとなったときに、自家用車から転換するイメージがあるか。継続性を考えると利用ニーズ等を含めて考えていく必要があるが、正直なところどうか。</p>
弓削保護者	<p>ふるさとバスならバス停がいくつかあり、私の家はバス停の近くなので利用しやすいが、バス停から離れたところにお住まいの方もいらっしゃる。小中学校の送迎のときはそこまで保護者がついて行かれることもあるが、もしふるさとバスに乗せられるのであれば、うちの場合は上の子と一緒に途中まで乗っていけるので、可能性としてはなくはないと思う。京北地域外に住ん</p>

	<p>で上の子どもを育てたときに、街中の保育園のバスを利用しており、そこは2歳児から利用できた。先生がついて座らせて、何かあったら「今から降りるよ」など、先生に指示をしてもらえばできると思うので、そうなれば助かる。</p>
ひかり保護者	<p>もしバスであれば、今、小中学校はバスで行くので、小中学校から保育所へ送ってもらえたらいいと思う。小中学生と一緒にスクールバスに乗せてもらえたら親も安心なので、バスで小中学校まで行って、そこから弓削保育所に行くのであれば私は安心して乗せられる。そんなことできるか分からないし、小中学校から弓削保育所へのバスコースは少し難しいと思うが。</p>
公営保育所課長	<p>利用の状況に即した対応ができるのかどうか、実施する内容が保護者のニーズに合ったものなのかどうか、本当に継続性あるものとして描いていくことができるかは問題。バスのあり方として変えていくところまで突き詰められるのかどうかは、今日、御意見をいただく中で考えていきたい。当然だがバスだと、少なくとも乳児は誰かがいないと乗れないので、そこをどうしていくのか、いろいろ課題は見えるが、今日はそういうところは抜きにして、こういうことができたなら良いなという御意見をいただければと思う。</p>
周山保護者	<p>実際、30数年前だったら保育所の送迎バスがあったと聞いている。その時は親がバス停まで送ってバスに乗っていた。</p>
ひかり保育所長	<p>京北町時代に路線バスがあったとき、3歳児以上は、保育所利用最初の3日間だけ保育士が乗って、後は子どもと運転手だけで行っていた。</p>
周山保護者	<p>保育士は乗っていなかったのか。</p>
ひかり保育所長	<p>保育士は乗っていなかった。乳児は保育所まで保護者に送迎してもらっていた。幼児も保護者の送迎が増えていって、最終的にバスの利用はなくなった。</p>
周山保護者	<p>基本的にはニーズがなく廃止されたということか。</p>
京北出張所長	<p>路線バスに乗車なので、今でもダイヤとしては継続しており、乗るなら8時頃に周山に行って8時20分ぐらいにひかりに向けて帰ってくるバスがある。</p>
事務局	<p>過去も保育所の送迎バスを走らせていた訳ではなく、今のふるさとバスを利用されていたということ。過去は最初の3日間だけ保育士がバスに乗って</p>

京北出張所長	<p>いたのと、保育所近くバス停まで保育士が迎えに行く対応をしていたことがあった。</p>
京北出張所長	<p>乗車していた頃は子ども1人で乗るので、子ども料金を払って乗っていた。また、京北の保育所は、山の上に多い。どの保育所も冬になると、車の運転が大変になる。京都市は今、幹線道路の除雪は業者に委託しているが、枝線（市道）の除雪は、地元のボランティアの方に除雪機で除雪していただくので、ひかり保育所の前も町内の方が、子どもが来るまでに除雪していただいていると思う。周山保育所の坂は市道ではないので、おそらく自力でされているのかと思うが、山の上にあるから除雪の対応が出てくる。1つの保育所の形として、弓削保育所での統合の話があるが、京北はもともと、桂川、弓削川という、谷の川沿いに道路が続いており、山国から弓削保育所に行こうと思うと、峠を越えないといけない。峠は雪の問題もあり、決して広い峠ではないので走りにくい。例えば、周山の小中学校の辺りに新しく保育所ができると、交通網としては非常に良いと感じる。資料を見ると、弓削保育所も平成4年に建物ができて33年経っており、老朽化の問題もある。既存の保育所活用という観点もあると思うが、交通網から考えたらどこが良いかということも少し考えてみてもいいのではないか。それで、保護者負担が少し減ることもある。できるだけ谷沿いに下っていくと峠は少なく安全に運行でき、バスの運行経路もそこしかないからしても良いのではと思う。今の小中学校の議論があったときに山国に持ってくるという意見が出たが、山国に行くためには峠越えをしないといけないので、効率的ではないという話もあり、今の位置になった。周山に新しく保育所ができると約束できるわけではないが、1つの考え方としてお伝えする。</p>
弓削保護者	<p>例えば周山に保育所があればということだが、小中学校では、令和2年の開校時にそれぞれの学年に2つつクラスが作れるように1年生から9年生までの教室をたくさん作られたが、現在、2クラスある学年は9年生だけで、その下は全部1クラスだけしかないので、教室が9個も余ることになる。そうすると空き教室に保育所を作るという可能性も今、話を聞いていて思った。実現可能性まではあまり考えられていないが、もし保育所から、小学校、中学校までが全部、同じ場所にあったら、それはそれで保護者の負担は楽になる。</p>
京北出張所長	<p>3割近い子どもが学童を利用しており、送迎もされているので、学童と保育所が近いと保護者にとっても効率的に送迎できると思う。</p>
公営保育所課長	<p>保育の観点の資料でも、老朽化を踏まえた中長期的な施設のあり方について触れているが、保育所統合による再編をするなら、弓削保育所などの既存</p>

	<p>の施設ではなく、新設の保育所を作ってほしいという意見も一部あったため、この観点を入れさせていただいた。保育所は構造上複雑な施設になるので、検討などに時間がかかるといった課題はあるが、今日いただいた御意見として、報告させていただく。保護者負担の観点で、資料3の一番下に、各保育所の施設情報として、弓削保育所の建築年月が平成4年ということや、総敷地面積や園庭面積、延床面積などの情報も挙げているので、参考に合わせて御覧いただければと思う。送迎バスの話で様々な御意見をいただいたが、保育所は保護者の就労の保障をするところでもあるので、例えば仕事の都合で今日は遅くなりそうなど、時間外保育のサービスをして開所時間を延ばすことができれば、送迎の保護者負担が軽減する工夫の1つとして感じられるか。</p>
周山保護者	<p>個人的には仕事が17時45分に終わると、18時までに迎えに行かないといけないということはものすごく負担で、1時間か30～40分延長ができると余裕をもってお迎えができる。</p>
ひかり保護者	<p>時間的には学童と同じ18時半までお願いできるととても助かる。また、保育所再編と話が少し違うかもしれないが、保護者負担でいうと、大雨警報等で、京北では雨が降っていないのに、お迎えをお願いされることが負担である。変えられないのかもしれないが、1箇所になるとより遠いところまで、雨が降っていないのに迎えに行かないといけなくなる。</p>
公営保育所課長	<p>大雨警報は市域全体で出る。昨今、ゲリラ豪雨がよくあるが、市内中心部では降っていても、京北地域は降っていないことがある。災害のことなので、リスク回避するため、今はそういった形でお願いさせていただいているが、問題意識は持っている。おっしゃっていることはよくわかるので、保護者負担の観点の1つの御意見として伺う。</p>
周山保護者	<p>他の自治体のことで申し訳ないが、南丹市の人に、京都市は全域で警報が出ると伝えたらびっくりされた。どの単位か分からないが、南丹市は市全体ではなくある程度地域分けされて警報が出るようである。</p>
京北出張所長	<p>警報の考え方は一緒なので、美山町だけで出すことはなく、南丹市全体で出されている。今は大雨警報の話だが、大雪警報に関しては、都市部の警報と山間部の警報があるので、大雪警報（山間部）と書かれると京北が該当するし、街中で20センチ、30センチ降るときは、街中で警報が出る。大雪の市街地警報と山間部警報は分かれているため、そこはまだ区別する方法があるのかと思うが大雨は難しい。土砂災害は山間部で、浸水被害も山間部が一部入る。私たちも警報が出るたびに待機しているので悩ましいところではある。</p>

事務局	<p>では次に、「(3) コミュニティ」の観点に移る。資料1の3ページを御覧ください。</p> <p>(資料1の3ページ説明)</p> <p>それでは、この観点について、御意見がございましたらお願いします。</p>
公営保育所 課長	<p>他の観点と違い、具体的なアイデアを見出すのが難しいので、資料はこのような記載にしている。意見交換会やアンケートの中でもコミュニティに関する御意見をいただいているので、何らかしら不安を感じておられる面はあるのかと思う。我々は保育の中で集団活動の充実を図ることを目指しており、再編をすれば児童の集団規模が拡大するので、集団での保育の充実を図ることが保育環境の維持向上に繋がっていくと考えている。ただ、小中学校まで同じメンバーで過ごすことや、場合によっては保護者同士の関係なども含めて、コミュニティという観点でいろいろな御意見をいただきたい。</p>
ひかり保護者	<p>私は生まれも育ちも京北で、自分のときはある程度大きい集団の中で育ち、子どもは少ない人数の中で生活している。同じメンバーで過ごすことの不安とあるが、個人的な意見としては、保育所から中学校、高校まで一緒だったが、特に不安はない。仲が悪くなる人もあるかもしれないが、むしろ団結力を感じているし、個々の良さをわかり合い、大人になった今でも友達で、自分の経験からは不安は感じない。</p>
ひかり保育所長	<p>今は3保育所の交流会などで、異年齢の子たちと過ごしているが、日常的にもう少し大きい集団になると、子どもたちで自分の好きな興味関心のある遊びをしていて、それをもう少し他の子たちと楽しみを味わいたいと思ったら、「〇〇ちゃん、一緒にこれしようよ」と誘い、それが繋がっていく。でも誘われても「僕は〇〇がしたいから、そっちの遊びはしない」という子もいる。自分と気が合うお友達を、今の少ない人数ではなく、もう少し人数がいるなかで見つけられたり、グループができて小さな勝負ごとができるようになったり、自分の遊びを発展したりする。むしろもう少し大きい集団の中では、いろいろな友達がいるということを感じたり、自分の好きなことを一緒に共感できる友達、グループができたという姿は今まで保育をしている中에서도見られたと感じている。</p>
保育内容 向上課長 保育施設 支援課長	<p>逆に居心地の良い場所が増える、選択肢が増えるという考え方かと思う。</p> <p>友達の良いところ悪いところを、この年齢のときに、頭でわかり合うというよりも、「もう、〇〇ちゃんは」「しょうがないな」と言いながら、折り合いをつける関係性を築いたりする。保育士もそういう気持ちを持って保育を</p>

	<p>している。一対一の関係で子ども同士が分かり合うというだけでなく、その周りの人も皆、この子はこういうことが好きな子なんだ、こういうことされると嫌な子なんだということが皆も分かっているような集団づくりを保育士はしている。だから集団で子どもたちは多様な人の価値観みたいなものを知って、大きくなってくれることを私たちも目指している。一定の集団での保育をしていきたいということにも繋がっていくが、子どもたちがお互いをわかり合うみたいな経験を、1つのコミュニティだから、しんどくなっちゃっていうときに、あの子しんどくなっているなということも周りの子がもっとわかってあげられるような、子どもたちの育ちを私たちも全力で保障していきたい。そのような関係づくりをしていくことも、集団保育の意味につながる。</p>
<p>保育内容 向上課長</p>	<p>もう一点だけ付け加えると、子どももそのような見方をしてくれる子が増えるように、保育士も同じで、保育士一人一人が子ども理解をし、保育士間で共有することで多角的により深く子どもを理解できるという良さもある。</p>
<p>弓削保護者</p>	<p>ひかり保育所では、地域の方の協力で鮎のつかみどりの体験をさせてもらえると聞いた。保育所でそれぞれの地域の特色を活かしたことをされている。合併したらその地域との行事までなくなるのは残念。地域と保育所というつながりを残してもらえたら良いと思う。</p>
<p>ひかり保育所長</p>	<p>子育て支援事業の一環でひかり保育所は鮎のつかみどりをしているが、弓削は弓削で地域の方と一緒に田んぼづくりをされていたりもする。それぞれでしていることがある。再編がどうなるかは決まっていないが、子どもたちにどのような経験をさせたいか、必要なものはどんどん取り入れていきたい。</p>
<p>周山保護者</p>	<p>先ほどの同じメンバーで過ごすことになる不安について、私は正直感じている。ただ、保育所での小さい頃より、小学校高学年や中学生になったときの方が人間関係も複雑になる。20年、30年前のそれぞれ保育所で何十人かいて、小学校で一緒になって、中学校でも新しい人が入ってというときと、保育所からずっと学年で10人程度同じメンバーで過ごすことは少し違う気がする。ただ、それも親の勝手な心配なのかもしれない。小学生の子に保育所が一つになるかもという話をしたら、「じゃあ今よりもっとみんなと仲良くなれそう」と言っていて、子どもからするとそういう感覚なのかと思った。自分の子のときは小学1年生のときに女の子のグループで保育所ごとのグループができていたりしたので、初めから一つの保育所であれば、そういったこともなかったのかと思ったのかもしれない。もしかしたら親の取り越し苦労なのかもしれないが、もっと上の年になったときにどうなのか私は未知なのでわからない。</p>

保育施設 支援課長	<p>例えば、仲間に入れなくてか言ってしまう気持ちや言われたときを想像すると胸が苦しいが、そういう思いにお互いにならないように、どんな人であっても大事な人で、自分もお友達も大事で、その人の言うこときちんと受け止めて、それに自分の思いを正当に言えて、そのような関係性が自然と作れる保育をしていきたいと市営保育所では思っている。ただ、全てがうまくいくわけではなく、思春期などの時期にそう思ってしまうことはあるかもしれないが、乳幼児期の保育所での生活では、安心して過ごせるよう保護者に心配していただかなくていいように努力したい。</p>
保育内容 向上課長	<p>保育士もしっかり意識を向けて、保護者とお話しできる関係性を構築したい。</p>
公営保育所 課長	<p>先ほど、鮎つかみの話があったが、公営保育所の担当として、京北地域外の保育所と比べて地域と非常に近く、地域から御協力いただきながら、地域と一緒にあって、そのような行事や子どもの学びが提供できていることに非常に感謝している。これまでから各保育所と地域で大事にしていることは当然あり、そのなかで多様な交流機会が創出されているので、保育所として大事にしていけないといけない。再編したとしても各保育所で良いものを持ち寄って、新たな形として引き継いでいく。地域との関わりを持ちながらしっかりと保育所運営をしていくべきだと考えており、各保育所の特色を大事にしていきたい思いは我々も同じである。</p>
事務局	<p>では次に、「(4) 地域振興・移住促進」の観点に移る。資料1の4ページを御覧ください。 (資料1の4ページ説明) それでは、この観点について、御意見がございましたらお願いします。</p>
公営保育所 課長	<p>保育所の運営をしている立場であるが、移住や地域振興の観点からこれまで御意見をいただいている。保育所として何ができるのか、子育て世代に来ていただくようであれば、保育所が利用しやすいように数が減ってはだめなのではないかななどの意見も含め、様々な御意見をいただきたい。また、細野保育所は資料2にもあるとおり、平成19年度から休所している。そのような遊休施設の活用で、地域振興や移住促進に資する取組ができないか、御意見いただきたい。</p>
弓削保護者	<p>私自身、移住してきて、子育てをしている身だが、黒田地域に今保育所に通っている子は3人しかいない。地域でまた新しい子どもが産まれるか分からないし、できれば若い子育て世代の人に来てほしいと思う。地域の将来、</p>

	<p>やっぱり10年後20年後先のことを考えたら、その地域に若い人がいないと、その地域の機能が維持できない。黒田だけの問題じゃなくて京北全体の問題にはなると思うが、やっぱり若い子育て世代の方をもっと増やして行って、子育てがしやすいと思ってもらえる地域を、地域全体で作っていくことが大事だと思う。これから子育て世代で保育所に通わせる年代の人が移住してきたときに、保育所が遠く、行って帰ってきたら1時間かかるみたいな地域であれば黒田は選ばれないという不安がある。弓削保育所に近いところに住もうとか、山国や周山とかだったら小学校も近いしとかいう感じで、そちらを選ばれてしまうんじゃないかという不安が結構大きい。でも、黒田も自然環境がとても良くて、きれいな川やそり滑りのできる所などの遊び場がある。黒田にいても保育所にちゃんと通所出来て、負担はそんなに変わらないということ、この保育所の再編で、担保してもらえると嬉しい。あと、京北地域外から来た身とすると、市中心部だと児童館や公園がたくさんあるが、京北にそういったところが少ないので、例えば、合併によって使われなくなった保育所を子どもの遊び場として集いの広場みたいな感じで利用できるようにするなど、有効に活用してもらえたら嬉しい。</p>
周山保護者	<p>確かに公園があっても草がぼうぼうだと行けない。安全に遊べない。</p>
自治振興会 会長	<p>過去10年振り返ってみても、移住されている方が1年間に100人近くいる。移住者が子どものいる方とは限らないが、移住の観点だけであれば、本当は3箇所保育所があった方が移住者は多いと思われる。しかし、児童の数がどんどん減って統合されたとしても、その保育所の新たな取組の実施や魅力が上がれば、1箇所になったとしても、移住者が増える可能性はあると思う。今おっしゃったように、保育所の問題だけでなく、遊ぶ場所もそうだし、病院の問題にしても産科がない。問題はたくさんあるが、どんどん人口が減ると何をしてもできない。児童が減っていくなかで、再編され1つになることはいいとしても、1つになったことで魅力的な保育所にしていきたい。</p>
ひかり保護者	<p>私も移住してきたが、京北に来るのに近代的な設備などを求めて来ていない。このような自然豊かな感じを望んで来ている。市内中心部の方が便利なので、京北に来るといふ人は、平穏な自然が良いから来ている。私は、少人数に対してそんなに不安はない。何で小学校は、統合してしまったのだろうと思うくらい。この自然豊かなところだからこそ来ている私みたいな人も一部いるということだけは、分かってほしい。</p>
自治振興会 会長	<p>自治振興会で、なぜこんなに幼児が少なくなったのかについて話していたが、20代30代の子どもを産む世帯の働く場がない。学校がなくなり、J</p>

<p>公営保育所 課長 京北出張所長</p>	<p>Aがなくなり、今まで職場であった働く場がどんどん無くなっている。このことによって農業や林業も衰退して、作業員がいらなくなった。若者が働く場所がないことによって、若い世帯が減り新生児が生まれない。そういう意味から言うと、再編により利用しなくなる施設の活用について、事業所として使っていただける方法を考えていただきたい。働く場所ができて、地域の雇用を増やしてほしい。それによりまた若い世代が住むようになれば子どもも増える。</p> <p>地域振興というところで、出張所長はいかがか。</p> <p>今回の資料には出てきていないが、宇津保育園は過去に閉園になっている。8月15日に宇津の夏祭りがあった。今までは小学校のグラウンドで実施していたが、人口が減って今回は保育園の園庭と横のふれあい会館で実施された。宇津保育園の活用はほぼなく、あとは選挙の投票所になるぐらい。確かに自治振興会長がおっしゃった通りだが、なかなか公の施設に民間を入れるということはハードルが高く、小学校も同じ。今は「ことす（京都里山 SDGs ラボ）」のような例もあり、理屈を整理すればできるかもしれないし、何かしら活用方法はあるかもしれない。</p> <p>京北地域は昭和40年代から人口増に取り組んできた。京都市と合併する前からだが、なかなか一旦地域を出た人が帰ってこない。仕事がないのも1つの原因だと思う。なかなか帰って来ないので、空き家が増えていると言われているが、空き屋の持ち主は割と貸すのを嫌がり、買ってほしいという思いがある。そうでないと何年かしたら屋根の葺き替えなど、何百万と投資しないといけなくなる。ただ、移住の方は売却を希望されていない方も多いため、マッチングができにくい。地域の自治会からも、空き家の持ち主に声をかけていただいているがなかなかマッチングできていない。あと、もう一つポテンシャルを持っているのが、宅造地に空き地がたくさんある。住宅予定地なので、住宅が建つ前提の場所が空き地が残っている。そこを新しい住宅地として供給できればと思う。住基の人口では4,000人を切っている。また、資料3の令和8年度0歳児の見込みが9としているが、もっと少ない見込み。そのような状況と認識いただきたい。</p>
<p>周山保護者</p>	<p>先ほどおっしゃっていたように、京北の自然が良くて来られる方が一定数いて、子育てをするうえで、自然豊かなところで子育てしたいというニーズはそこそこあると思う。例えば、理想だが、市街地からバスを出して、毎日じゃなくても通所できるようにしたり、保育所留学のように1週間、2週間体験できるっていうサービスもあるし、「森のようちえん」もそれなりに利用されているみたいなので、似たようなことを取り組んでも良いと思う。それで京北を気に入ってくれればもしかしたら移住を考えてくれる人も出てくる</p>

<p>公営保育所 課長</p>	<p>かもしれない。</p> <p>内部的に1つのアイデアであるが、例えば土曜日や日曜日に京北ならではの保育所を知ってもらうような、園庭開放の土日版をやることも考えられる。市内中心部では遊び場があるとは言っても、都市部のコンクリートなどに辟易している保護者も、もしかしたらいるかもしれない。保育所として移住支援に繋がるようなプログラムを組んでやってみるのは良いのではという話はしていたので、それに近い御意見かと思う。子育て支援を担う保育所として何ができるのか、もう少し見つめなおしていくのも必要だと御意見を伺って感じた。</p>
<p>弓削保護者</p>	<p>保育所留学の話は、最近メディアでも取り上げられているが、1箇月ほど保育所に子どもを通わせるために、例えばお試し住宅など住むところを整理して、その間のご両親の働き口もセットで提供し、そのまま定住に繋げるということを取り組む自治体も多く、それで移住者を増やしておられる前例があるので、参考にしてもらいたい。保育所再編だけの話題ではなく、移住促進の取組も相互に協力して取り組めれば良いと思う。あとは土日に遊ぶところがないことは本当に深刻で、平日であれば京北出張所の3階ににこにこ広場があるが、土日は利用できない。保育所に通うと、にこにこ広場に子どもが行くことがほとんどなくなった。保育所に行かない土日や祝日に開いている屋根がある遊び場が京北には全然ないため、整備してほしいと思う。保育所の保護者だけでなく小学生以上の方もきっと同じ思いをしていて、土日に遊ぶところがなく困っていると思うので、考えてもらいたい。</p>
<p>保育施設 支援課長</p>	<p>この前弓削保育所に行って、幼児の部屋の大きい飼育箱を見ると、バツタがいっぱい入っていて、こんな大きいバツタを見たのはいつ振りかと思った。私はずっと旧市域の保育所で勤めてきたので、子どもたちにこんなバツタを見せてあげたことがない。子どもたちは虫が好きなので、気の利く保育士が休みの日に小さいバツタを捕まえてきて、それを朝に保育所の園庭に放して、子どもにバツタがいたと言って探させることをわざわざしていた。それでも子どもが小さなバツタを見つけたらヒーローで、保育所中の子が見に行っていた。京北の環境を見たときに、他の地域の保護者にも、もっと京北の保育所を知ってもらいたいと思ったし、そういうことの積重ねで関係人口を増やして、京北に興味を持ってもらって、移住に繋がっていくこともある。私たち公営保育所としても何か発案してやっていきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>では「(5) 全体を通して」として、今まで議論した4つの観点以外の意見や、保護者の御意見でまだ御紹介いただいていないものがあればお願いします。</p>

公営保育所 課長	4つの観点では言い尽くせない内容もあるかと思う。全体を通して、お伝えできていない保護者の御意見などあればこの場でお話しいただければと思う。
周山保護者	<p>保護者の方の意見でいただいたものを紹介する。</p> <p>適切な保育を受ける権利は人口が少ない地域であっても、等しく保障されるべきであり、子どもが減っているからといって統合による園の削減をすることには納得できない。福祉サービスの公平性を損なうことについての説明を求めたい。統合以外の選択肢が十分検討されていない中で、単純な園数削減は拙速。人口減少地域でも柔軟な運営モデルで保育サービスを維持することができる可能性について、議論の余地がある。人口が少ないことを理由に保育園を統合することは、かえって地域の魅力を下げ、若年層の流出を加速させ、移住の妨げになるといった悪循環を生むため、統合によるコスト削減の短期的なメリットよりも、長期的な地域存続の視点が優先されるべき。</p> <p>このような意見もあった。</p>
事務局	<p>他には御意見ないか。</p> <p>では本日の議題は以上になります。今回いただいた御意見、議論を踏まえ、京都市でも検討を進める。次回第2回の検討会では、今回の議論を踏まえて、今後の在り方の方針素案を作成して、その内容について議論したいと考えております。10月下旬から11月上旬を予定しているが、具体的な日程調整は別途させていただきます。</p>
ひかり保護者	方針素案は先に資料をもらえるのか。それとも検討会のときに見て議論するのか。
公営保育所 課長	できれば事前に示したうえで議論した方が効果的に議論できると考えている。ただ、御意見を踏まえて様々な検討が必要なので、現時点ではできる限り事前に示すよう努力させていただくとしかお伝えできない。
事務局	<p>冒頭申し上げた通り、本日の内容は会議録を作成して、広く御意見いただけるように検討会に参加いただけない保護者の方や地域の方にも周知させていただきます。</p> <p>では、以上で第1回、京北地域保育所の在り方に係る検討会を終了させていただきます。</p> <p>皆様お忙しいところ御参加いただき、また長時間にわたって様々な御意見、議論をいただき、ありがとうございました。</p>